

経 歴

略年譜

- 1942年 1月 8日 東京都四谷区にて出生（戸籍上は新潟県佐渡郡加茂村）。海軍技術研究所技師 竹内政治・野枝の長男、実母死亡により伯父夫婦（竹内百太郎）の養子。3歳まで東京市四谷区に居住
- 1947年 4月 海の星幼稚園（キンダー・ホール）入園
- 1948年 3月 同園卒園
- 1948年 4月 両津町立両津小学校入学
- 1954年 3月 同校卒業
- 1954年 4月 両津町立両津中学校入学
- 1957年 3月 同校卒業
- 1957年 4月 新潟県立両津高等学校入学
- 1960年 3月 同校卒業
- 1961年 4月 京都大学教育学部入学
- 1965年 3月 京都大学教育学部教育社会学科卒業
- 1967年 4月 京都大学大学院教育学研究科修士課程教育方法学専攻入学
- 1970年 3月 同課程修了
- 1970年 4月 京都大学大学院教育学研究科博士課程教育方法学専攻入学
- 1973年 3月 同課程単位取得退学
- 1973年 4月 関西大学社会学部専任講師
- 1976年 4月 同 助教授
- 1983年 4月 同 教授
- 1985年 4月 京都大学教育学部助教授（教育社会学）
- 1993年 5月 同 教授（教育社会学）
- 1994年 3月 京都大学博士（教育学）
- 1996年 10月 第39回日経・経済図書文化賞受賞（『日本のメリトクラシー』による）
- 1997年 6月 京都大学評議員（2001年3月まで）
- 1998年 4月 京都大学大学院教育学研究科教授
- 1998年 4月 京都大学大学院教育学研究科長・教育学部長（2001年3月まで）
- 2002年 5月 吉田茂賞受賞（『日本の近代12 学歴貴族の栄光と挫折』ほか全集全体に）
- 2004年 4月 京都大学評議員（2005年3月まで）
- 2005年 4月 京都大学名誉教授
- 2005年 4月 関西大学文学部教授（2010年3月まで）
- 2010年 4月 関西大学人間健康学部教授・学部長
- 2010年 9月 関西大学評議員
- 2011年 10月 関西大学理事

客員教授等

- 1984年4月 カルフォルニア大学デビス校歴史学部客員教授（同年9月まで）
- 1987年4月 広島大学大学教育研究センター客員研究員（1988年3月まで）
- 1989年8月 ブリストル大学教育学大学院客員教授（1990年6月まで）
- 1992年4月 ブリストル大学心理学部客員教授（同年7月まで）
- 1996年1月 NHK 人間大学講師（同年3月まで）
- 2001年4月 放送大学客員教授（2011年9月まで）
- 2002年9月 北京日本学術研究センター客員教授（2003年1月まで）

非常勤講師

北海道大学文学部、東北大学教育学部、東京大学大学院教育学研究科、名古屋大学教育学部、神戸大学大学院文学研究科、広島修道大学文学部（以上、集中講義）、同志社大学大学院文学研究科、立命館大学産業社会学部、大阪樟蔭女子大学文学部、大阪大学人間科学部、神戸女学院大学文学部 ほか多数

学会役員・審議会委員等

- 1991年10月 日本教育社会学会理事
- 1999年10月 日本教育社会学会会長（2001年10月まで）
- 2001年5月 中央教育審議会臨時専門委員（2002年6月まで）
- 2001年7月 大学設置・学校法人審議会専門委員（2004年3月まで）
- 2002年1月 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員（2002年12月まで）
- 2004年3月 日本学術振興会 21世紀COEプログラム 分野別（人文科学）審査・評価部会専門委員（2005年3月まで）
- 2004年4月 河村建夫文部科学大臣主宰「これからの教育を語る懇談会」委員（2005年3月まで）
- 2004年7月 大阪府教育委員会学校教育審議会会長（2008年7月まで）
- 2005年1月 読売新聞読書委員（2006年12月まで）
- 2005年9月 日本学術振興会特別研究委員等審査委員会委員（2007年3月まで）
- 2006年1月 中央教育審議会専門委員（2007年2月まで）
- 2006年3月 日本学術会議連携委員
- 2006年4月 人間文化研究機構国際日本文化研究センター運営会議委員
- 2008年4月 松下国際財団選考委員
- 2009年10月 日本教育社会学会評議員（2011年9月まで）
- 2011年1月 科学研究費委員会専門委員（2011年12月まで）

ほかに、『ソシオロジ』編集委員、『社会学評論』編集専門委員、日本社会学研究活動委員、『教育社会学研究』副編集長、NHK 視聴者会議委員（近畿）、関西経済同友会国民意識委員会コーディネーター等を歴任。

主要著作

著書

- 日本人の出世観 学文社 1978年
 競争の社会学—学歴と昇進 世界思想社 1981年
 複眼サラリーマン学 東洋経済新報社 1985年
 選抜社会—試験・昇進をめぐる〈加過熱〉と〈冷却〉 リクルート出版 1988年
 立志・苦学・出世—受験生の社会史 講談社（現代新書） 1991年
 パブリック・スクール—英国式受験とエリート 講談社（現代新書） 1993年
 日本のメリトクラシー—構造と心性 東京大学出版会 1995年
 立身出世と日本人（NHK 人間大学） 日本放送出版協会 1996年
 立身出世主義—近代日本のロマンと欲望 日本放送出版協会 1997年
 学歴貴族の栄光と挫折（日本の近代12） 中央公論新社 1999年
 大衆モダニズムの夢の跡—彷徨する「教養」と大学 新曜社 2001年
 大学という病—東大紛擾と教授群像 中央公論新社 2001年
 教養主義の没落—変わりゆくエリート学生文化 中央公論新社（中公新書） 2003年
 立身出世主義—近代日本のロマンと欲望（増補版） 世界思想社 2005年
 丸山眞男の時代—大学・知識人・ジャーナリズム 中央公論新社 2005年
 学校システム論（改訂版） 放送大学教育振興会 2007年
 社会学の名著30 ちくま書房 2008年
 学問の下流化 中央公論新社 2008年
 大学の下流化 NTT出版 2011年
 学校と社会の現代史 左右社 2011年
 革新幻想の戦後史 中央公論新社 2011年

編著書

- 転換期の文化—日本近代化のひずみ（中農晶三と共編） 創元社 1979年
 教育社会学（柴野昌山・菊池城司と共編） 有斐閣 1992年
 教育現象の社会学（徳岡秀雄と共編） 世界思想社 1995年
 卒業生からみた京都大学の教育—教育・職業・文化 広島大学大学教育研究センター 1995年
 論争・東大崩壊（中公新書ラクレ編集部と共編） 中央公論新社（中公新書ラクレ） 2001年
 学校システム論—子ども・学校・社会 放送大学教育振興会 2002年
 不良・ヒーロー・左傾—教育と逸脱の社会学（稲垣恭子と共編） 人文書院 2002年
 養田胸喜全集（全7巻）（佐藤卓己・植村和秀他と共編） 柏書房 2004年
 日本主義的教養の時代—大学批判の古層（佐藤卓己と共編） 柏書房 2006年

訳書

- ジェフリー・ウォルフォード『パブリック・スクールの社会学—英国エリート教育の内幕』（海部優子と共訳）世界思想社 1996年
- タキエ・スギヤマ・リブラ『近代日本の上流階級—華族のエスノグラフィー』（海部優子、井上義和と共訳）世界思想社 2000年
- マイルズ・フレッチャー『知識人とファシズム—近衛新体制と昭和研究会』（井上義和と共訳）柏書房 2011年

報告書

- 尼崎産業高等学校調査報告書（森繁男・山本雄二・高橋一郎と共同執筆）1986年
- 社会的選抜過程における冷却（cooling-out）の構造と機能に関する実証的研究（昭和62・63年度科学研究費補助金〔一般研究C〕研究成果報告書）1989年
- 日英の大学入学者選抜方法並びに試験問題に関する比較社会学的研究（平成3・4年度科学研究費補助金〔一般研究C〕研究成果報告書）1993年
- 現代高校生の「受験生活」についての実証的研究（京都大学教育学部教育社会学研究室編）1993年
- 学校・家庭・地域社会の教育分担に関する国際比較研究（学校・家庭・地域社会教育分担研究会代表）1997年
- 旧制高校とパブリック・スクールにみるエリート教育の構造と機能の比較研究（平成6-8年度科学研究費補助金〔基礎研究C(2)〕研究成果報告書）1997年
- 大衆教育時代におけるエリート中等学校の学校文化と人間形成に関する比較研究（平成11-13年度科学研究費補助金〔基盤研究B(1)〕研究成果報告書）2002年
- 『大学批判の歴史社会学—知識人的公共圏の成立と変容』（稲垣恭子他編 平成17-19年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書 研究代表者：稲垣恭子）2008年

著作目録

1967年

尾崎盛光著『就職』（書評）『京都大学新聞』5月1日

1971年

Halmos, P. "The Personal Service Society"（書評）『組織科学』5巻1号 3月
 専門職の社会学—専門職の概念 『ソシオロジ』53号 5月

1972年

官僚制と専門職 『京都大学教育学部紀要』18号 3月
 準（セミ）・専門職業（プロフェッション）としての教師 『ソシオロジ』56号 4月

1975年

職業と教育 関西大学社会学研究会編『現代生活の社会学』ミネルヴァ書房 5月
 人間と職業 岩内亮一編著『職業生活の社会学』学文社 5月
 現代のホワイト・カラー—ホワイト・カラーの地位（出世）志向 岩内亮一編著『職業生活の社会学』学文社 5月
 専門職業をめぐる諸問題 岩内亮一編著『職業生活の社会学』学文社 5月
 教員—専門職業としての教職 岩内亮一編著『職業生活の社会学』学文社 5月
 立身出世主義の系譜と論理—明治期を中心に 『関西大学社会学部紀要』7巻1号 11月

1976年

現代専門職業（プロフェッション）論 山村嘉己・渡辺幸博・小川雅也編著『知識人その虚像と実像』創元社 4月
 近代日本の労働観念—労働と報酬の日本的システム 『ENGINEERS』334 6月
 立身出世主義の論理と機能—明治後期・大正前期を中心に 『教育社会学研究』31集 9月

1977年

戦後の成功ブームと成功（出世）観—戦前の立身出世主義を比較基準にして 『関西大学社会学部紀要』8巻1号 1月
 成功ブームの台頭と変容—雑誌『成功』（1902-1915年）にみる 『ソシオロジ』70号 11月

1978年

日本人の出世観 学文社 1月
 立身出世主義の変容 『朝日新聞』2月15日東京夕刊
 近代日本のアスピレーション構造 麻生誠・柴野昌山編『変革期の人間形成』アカデミア出版会 4月
 立身出世に時の流れ（講演記録）『月報』日本綿業倶楽部 5月

ビジネス社会の出世観 (1-5) 『信濃毎日新聞』5月30日-6月27日夕刊
 出世主義文化の展開と挫折 『法学セミナー増刊進路ガイダンス』9月
 神島二郎著『近代日本の精神構造』(書評) 『書評』48号 関西大学生協同組合・組織部「書評」編集委員会 10月

1979年

転換期の文化—日本近代化のひずみ(中農晶三と共編) 創元社 4月
 出世主義文化の転換 中農晶三・竹内洋編『転換期の文化』創元社 4月
 現代学生の出世観—うすれゆく権力志向の次にくるもの 『月刊リクルート』7月号
 現代青年をどう見るのか—シラケ世代の心理と行動 『労働調査時報』8月号
 みじめアタッカー競争の出現とその背景 『月刊リクルート』12月号

1980年

井上忠司氏の書評に答えて 『ソシオロジ』77号 3月
 坂田稔著『ユースカルチャア史』勁草書房(書評) 『書評』51号 関西大学生協同組合・組織部「書評」編集委員会 4月
 職業分化の現代的特点 近藤大生・有本章編著『職業と教育』福村出版 5月
 J・ガベル著 木村洋二訳『虚偽意識』(書評) 『関西大学通信』9月
 長学歴社会が生んだ挫折人間 『キャリアガイダンス』10月号

1981年

長学歴社会の効用 『月刊リクルート』3月号
 人材過剰社会のメカニズムと今日的危機 『月刊リクルート』4月号
 教育アスピレーションと学歴社会の構造 野崎治男編『価値意識の社会学的研究』関西大学経済・政治研究所 5月
 競争の社会学—学歴と昇進 世界思想社 9月

1982年

現代社会の移動パターン—トーナメント移動をめぐって 『関西大学社会学部紀要』13巻2号 3月
 日本の成功の夢—誕生と展開 『意識変容の社会学的研究』関西大学経済・政治研究所 3月
 学生アルバイトの功罪 『月刊マネジメント情報』4月号
 競争化社会における子どもの教育 『児童心理』5月号臨時増刊
 敗者復活型昇進ルートは可能か 『月刊リクルート』5月号
 気分はもう偽悪趣味 『月刊マネジメント情報』6月号
 サラリーマン社会学 『毎日新聞』8月12日大阪夕刊
 人材論から見た日本企業の裸の実力 『実業の日本』9月20日臨時増刊号
 成功の夢—日本サラリーマン史序説 『関大』313号 9月
 西尾幹二著『日本の教育ドイツの教育』(書評) 『IDE 現代の高等教育』234号 9月
 学歴移動の構造—ビジネス・エリートの家族にみる 『価値変容の社会学的研究』関西大学経済・

政治研究所 9月

- もうひとつの日本商人道 『月刊マネジメント情報』10月号
 ビジネスマンの勉強フィーバーを解剖する 『月刊マネジメント情報』11月号
 低学力の効用 『IDE 現代の高等教育』235号 11月
 日本は学歴社会か 上 『月刊マネジメント情報』12月号

1983年

- '83男のマナー学 (連載) ①小遣い考 『夕刊フジ』1月5日大阪版
 '83男のマナー学 (連載) ②家計行革 『夕刊フジ』1月6日大阪版
 '83男のマナー学 (連載) ③ソフト・ギャンブラーのすすめ 『夕刊フジ』1月7日大阪版
 '83男のマナー学 (連載) ④おしゃれの経済学 『夕刊フジ』1月8日大阪版
 '83男のマナー学 (連載) ⑤勘定と感情 『夕刊フジ』1月9日大阪版
 日本は学歴社会か 下 『月刊マネジメント情報』2月号
 若者が次代を担う条件 (パネルディスカッション記録) 『明日を考える—若者が次代を担う条件』神戸市青少年問題協議会 3月
 二〇代の男性にふえる無努力崇拜人間 『結婚潮流』3月号
 サラリーマン漫画100年考 苦しい時ほど「救い」求め 『毎日新聞』3月3日大阪夕刊
 荻生狙来の人材論 上・中・下 『月刊マネジメント情報』4-6月号
 挑戦の社会学—青年は挑戦する力を失ったか 『青年心理』38号 5月
 日米の大学生比較 『月刊マネジメント情報』7月号
 ジャパン・アズ・ナンバーワンか 『月刊マネジメント情報』7月号
 カリフォルニア最前線 (連載1-4) 『結婚潮流』7-10月号
 人間距離の日米比較 『月刊マネジメント情報』8月号
 天野郁夫著『教育と選抜』(書評) 『教育社会学研究』38集 10月
 やめられないとまれない—日本独特論 『葦』66号 関西大学教育後援会 12月

1984年

- 木村洋二著『笑いの社会学』(書評) 『関西大学通信』133号 1月17日
 レジャーランド大学の皮肉 専門的知識人の過剰生産免れる 『毎日新聞』3月1日大阪夕刊
 ビジネス・マインド・ストーリー (連載1-8) 『月刊リクルート』5-12月号
 もうひとつの日本社会論 『関大』331号 5月15日
 みんなで渡れば組織は潰れる—ピア・プレッシャー病を打ち破る組織活性の三条件 『Voice』6月号
 慶伊富長編『大学評価の研究』(書評) 『カレッジマネジメント』7・8月号
 松浦行真著『混迷の知恵』(書評) 『サンケイ新聞』8月27日
 私の現代学生論 『コリীগ』13号 広島大学大学教育研究センター 9月
 レジャーランド大学の思わざる効果 (パバース・エフェクト) 『書斎の窓』9月号
 学歴はどれだけ通用するか—学歴無関係説と学歴決定説のあいだ 『世界』10月号
 Peer Pressure in Japanese Organizations “Japan Echo”, Vol. 11, No. 3, Autumn

1985年

- 現代青年のまなざし 『労働調査時報』1月号
 情報洪水のなかで教師は何をすべきか 『キャリアガイダンス』4月号
 複眼サラリーマン学 東洋経済新報社 5月
 辣韭の皮を剥かなくなった大学生—私大教師の対話から 『IDE 現代の高等教育』261号 5月
 失われる?企業のダイナミズム 『実業の日本』5月15日号
 追跡調査—最年少課長の十三年後(森繁男・山本雄二と共著) 『Voice』6月号
 企業と学歴—学歴の社会学 柴野昌山編『教育社会学を学ぶ人のために』世界思想社 6月
 ピア・プレッシャーの世界 サラリーマンの実感社会学 『毎日新聞』6月13日大阪夕刊
 ポスト不足 家族にどう影響 『朝日新聞』7月25日東京
 昇進あきらめ幸福家族 『朝日新聞』7月27日大阪
 新堀通也著『「殺し文句」の研究』(書評) 『週刊ポスト』10月25日号
 あなたの会社の“出世法則”は間違いだらけだ(若林満との対談) 『週刊現代』11月9日号
 今は昭和史上最高に企業優勢の時代 『青年心理』53号 11月
 “出世戦線”降りて幸せ 『読売新聞』11月16日
 親の生き方と子どもの育ち方(講演記録) 『教育ひょうご』12月23日

1986年

- 新人諸君!力は入社三年目までに発揮せよ—入社三年目まででわかる昇進レースの勝者と敗者
 (若林満との対談・共著) 『月刊リクルート』2・3月号
 職業高校の虚像と実像 修正必要な「普商工農」 『毎日新聞』2月20日大阪夕刊
 モラトリアム期間おく必要(人事ロジーああ格差「同期の桜」) 『日本経済新聞』2月24日
 尼崎産業高等学校調査報告書(森繁男・山本雄二・高橋一郎と共同執筆) 尼崎市教育委員会 3月
 職業高校の虚像・実像・皮肉 『IDE 現代の高等教育』270号 3月
 粹な三代目 『労働と経営』4月号
 入試改革に特効薬はあるか 『KANJUKU』105号 5月
 学歴移動の構造 柴野昌山・麻生誠・池田秀男編『リーディングス日本の社会学16』教育東京大学出版会 6月
 やめられない、とまらない入試改革論議 『書斎の窓』7・8月号
 清水義弘編『日本の教育を考える』(1-3)(書評) 『教育社会学研究』41集 10月

1987年

- 職業高校の学校内過程—X 職業高校調査から 『京都大学教育学部紀要』33号 3月
 産業社会の選抜とディレンマ—加熱・冷却論再考 京都大学教育学部入試検討委員会編『大学
 入試改善に関する社会的要請の研究』3月
 加熱したがる教師と冷却したがる学生—「キャンパスの生態誌」を読みながら 『IDE 現代の
 高等教育』281号 4月
 情報洪水のなかでの大学生の余暇行動 『UNIV. COOP』4月
 「大学生とは何する人ぞ、京大生とは何する人ぞ」(講演記録) 『ライフステージ』京都大学生生活

共同組合理事会 35号 5月
 学歴・偏差値社会と家族—日本型リターンマッチの崩壊 『青年心理』63号 5月
 「同期の桜」と日本の経営(黒田勇・澤田芳郎と共著) 『Voice』5月号
 ストレスを生む学校教育—現代社会の中の子どもたち 『児童心理』9月号

1988年

選抜社会—試験・昇進をめぐる〈加過熱〉と〈冷却〉 リクルート出版 1月
 喜多村和之著『学生消費者の時代』(書評) 『大学論集』17集 3月
 就職と学歴—採用過程にみる 『IDE 現代の高等教育』292号 4月
 現代若者論—「やほ」な旧人類と「いき」な新人類 『リクルートシンポジウム』6月
 ふところの深い人 『More あまがさき』16号 6月
 就職市場の「ねじれ効果」 『京都新聞』8月3日
 人材はいかにして選別されてきたか—採用・昇級システムの今・むかし 『歴史街道』9月号
 受験戦争の変貌 『関大』379号 9月1日
 「隠されたカリキュラム」で教育再考を 『読売新聞』11月30日

1989年

根強い学歴神話は正しいか 『高校教育展望』1月号
 受験戦争はこうして始まった—明治時代の入学試験 『歴史街道』2月号
 社会的選抜過程における冷却(cooling-out)の構造と機能に関する実証的研究 文部省科学研究費
 補助金研究成果報告書 3月
 岩田龍子著『学歴主義の発展構造』(改訂増補版)(書評) 『大学論集』18集 3月
 新規大卒労働市場における「ねじれ」効果(パバース・エフェクト)—学校歴神話の再生産構造
 『京都大学教育学部紀要』35号 3月
 「物語」としての学歴社会論 『経営者』7月号
 高等教育と労働市場—学歴・ねじれ効果・市場能力 『教育社会学研究』45集 10月
 受験競争の変質—『受験生の手記』を読む(教育・こどもを読み解く……社会学的考察3) 『教
 員養成セミナー』11月号

1990年

大村英昭著『新版 非行の社会学』(書評) 『ソシオロジ』107号 1月
 「らしさ」の形成(私の大学論) 『京都新聞』9月2日
 キャンパスの“金魂巻” 『大学進学研究』70号 11月

1991年

ルポ・学歴(連載1-5) 『読売ライフ』1-6月号
 立志・苦学・出世—受験生の社会史 講談社(現代新書) 2月
 受験生燃ゆ 明治の“初陣” 『日本経済新聞』2月20日
 近代日本の“受験雑誌”現象 『本』3月号
 Myth and Reality in the Japanese Educational Selection System “Comparative Education”, Vol.27,

No.1 3月

受験、ポスト・モダン化 『毎日新聞』3月5日大阪夕刊

「知のミーハー」のススメ 新大学生への応援歌 『毎日新聞』4月18日大阪夕刊

自己矛盾認識せぬ教師 『読売新聞』4月22日夕刊

「煽り」文化の終焉 『少年補導』5月号

雪だるま型競争と御破算型競争—中教審審議経過報告を読みながら 『大学進学研究』72号 5月

受験—大きな物語を欠如したレース 『児童心理』6月号

団塊ジュニアは受験のポストモダン層—物語の変容 『大学進学研究』73号 7月

職業的選抜と能力主義 有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』福村出版 7月

学位と学歴考—陰謀する大学と横領される大学 『IDE 現代の高等教育』326号 7月

がんばれ大学受験生 勉強にプラスする余裕を 『朝日新聞』8月14日大阪

国立大が紡いできた「物語」の終焉—危機は「大学型知識」にあり 『エコノミスト』9月24日号

日本型選抜の探究—御破算型選抜規範 『教育社会学研究』49集 10月

大企業に就職するには都会の大学が有利!?—就職における偏差値効果と地域効果 『螢雪時代』10月臨時号

1992年

面接試験の東西比較 『HRR メッセージ』7号 1月

受験生は今も昔もこんなに勉強した?しない? 『受験の日本史』2月号

ポストモダン時代の受験 『東奥日報』ほか(共同通信配信) 2月19日

「黄昏の時代」を迎えた地方国立大学 『Φfai』30号 3月

矢野眞和著『試験の時代の終焉』(書評) 『大学論集』21集 3月

イギリスの学外試験と大学入学者選抜—近年の変化と機会の不平等の視点から 『京都大学教育学部紀要』38号 3月

苅谷剛彦著『学校・職業・選抜の社会学』(書評) 『社会学評論』43巻1号 6月

教育社会学(柴野昌山・菊池城司と共編) 有斐閣 11月

教育と選抜 柴野昌山・菊池城司・竹内洋編『教育社会学』有斐閣 11月

これからの教育社会学(菊池城司との対談) 柴野昌山・菊池城司・竹内洋編『教育社会学』有斐閣 11月

平均的に、ひたすら平均的に 『歴史街道』12月号

1993年

パブリック・スクール—英国式受験とエリート 講談社(現代新書) 2月

日英の大学入学者選抜方法並びに試験問題に関する比較社会学的研究 文部省科学研究費補助金研究成果報告書 3月

「勉強」の系譜 井上俊編『現代文化を学ぶ人のために』世界思想社 3月

天野郁夫著『学歴の社会史』(書評) 『IDE 現代の高等教育』343号 3月

麻生誠著『日本の学歴エリート』(書評) 『大学論集』22集 3月

学歴社会—構造と心性 柴野昌山編『社会と教育』（新・教職教養シリーズ8巻）協同出版 4月

大学型知識の終焉 『IDE 現代の高等教育』344号 4月

昇進などを狙うなら就職前に学校選び 『日経アントロポス』5月号

日本式受験競争再考 『京都新聞』5月19日

先生のニックネーム 『旺文社ゼミ HIGH PERFECT』6月号

サラリーマン型人間像の誕生と死 『Φfai』46号 7月

受験社会は子どもの自信を育てるか 『児童心理』8月号

回答—月給制とボーナスの起源について 『歴史街道』8月号

教育的配慮が生んだ偏差値社会 『灯台』9月号

日本のメリトクラシー—疑惑・戦略・狼狽 山之内靖他編『システムと生活世界』（岩波講座社会科学の方法8巻）9月

現代高校生の「受験生活」についての実証的研究（研究代表者） 京都大学教育学部教育社会学研究室 11月

1994年

「学歴社会」（特集解説・労働用語50）『日本労働研究雑誌』1月号

受験社会のテクノロジー 『季刊子ども学』3巻 4月

学歴社会論再考—伝統的アプローチと制度論的アプローチ 『現代社会学研究』7号 4月

日本型人事の戦略 内橋克人・奥村宏・佐高信編『会社人間の終焉』（シリーズ日本会社原論3）岩波書店 4月

日本的学習文化「ガンバリズム」再考（連載「教育のぞきめがね」①）『大学進学研究』87号 5月

「大人の都合」にはまらぬ人間に（若者へ）『新潟日報』6月29日

見えない教育効果／教育効果のアイロニー（連載「教育のぞきめがね」②）『大学進学研究』88号 7月

一度はかかろう「おたく病」（若者へ）『新潟日報』8月31日

業者テスト追放考（連載「教育のぞきめがね」③）『大学進学研究』89号 9月

昭和7年、ある課長さんの一日 『歴史街道』9月号

学歴・教養資本の黄昏—京都大学卒業生調査から 『リクルート調査月報』9月号

管理主義教育考 『社教情報』31号 9月

塾は覚醒剤（講義のあとで1）『新潟日報』10月12日

教育学の自己欺瞞（連載「教育のぞきめがね」④）『大学進学研究』90号 11月

回想・W教授（講義のあとで2）『新潟日報』11月9日

退屈虫の生息（講義のあとで3）『新潟日報』12月14日

1995年

美人の友達（講義のあとで4）『新潟日報』1月11日

大学改革という空騒ぎ（連載「教育のぞきめがね」⑤）『大学進学研究』91号 2月

欲望の空洞化（講義のあとで5）『新潟日報』2月8日

- 教育現象の社会学（徳岡秀雄と共編）世界思想社 3月
 おたくバッシング 竹内洋・徳岡秀雄編『教育現象の社会学』世界思想社 3月
 学校効果というトートロジー 竹内洋・徳岡秀雄編『教育現象の社会学』世界思想社 3月
 卒業生からみた京都大学の教育—教育・職業・文化 広島大学大学教育研究センター 3月
 京都大学の教育の職業技能的効用と期待（山口健二・薄葉毅史と共著）『卒業生からみた京都大学の教育』広島大学大学教育研究センター 3月
 昇進とハビトゥス—京都大学卒業生調査から『ホワイトカラーの人事管理』（調査研究報告書68号）日本労働研究機構 3月
 「いじめ」自殺（講義のあとで6）『新潟日報』3月8日
 おもしろ話（講義のあとで7）『新潟日報』4月12日
 いじめ撲滅運動は問題の解決になるか？（連載「教育のぞきめがね」⑥）『大学進学研究』92号5月
 志水宏吉著『変わりゆくイギリスの学校』（書評）『IDE 現代の高等教育』366号 5月
 喫茶店の恋（講義のあとで8）『新潟日報』5月10日
 E・H・キンモンス著 広田照幸他訳『立身出世の社会史』（書評）『教育学研究』62巻3号 6月
 学風の違い（講義のあとで9）『新潟日報』6月14日
 会社主義というカリキュラム（連載「教育のぞきめがね」⑦）『大学進学研究』7月号
 日本のメリトクラシー—構造と心性 東京大学出版会 7月
 マッチポンプ（講義のあとで10）『新潟日報』7月12日
 「国際理解教育」のすすめ方—21世紀型国際交流とは何か『総合教育技術』8月号
 私のウルトラ京大論（特集京都の大学どう変わる）『京都 TOMORROW』8月号
 受験システムの自己準拠化と隠れたアジェンダ『悠峰職業科学研究紀要』3巻 8月
 ニックネーム（講義のあとで11）『新潟日報』8月9日
 生活様式への憧れと失望（戦後五十年と知識人）『京都新聞』8月18日
 旧制高校神話の解体（連載「教育のぞきめがね」⑧）『大学進学研究』9月号
 漱石の（小説の）主人公（講義のあとで12）『新潟日報』9月13日
 大衆的能力主義競争の時代『聖教新聞』9月14日
 企業内部でこそメセナ精神を『毎日新聞』9月14日東京
 教育社会学における歴史研究—ブームと危うさ『教育社会学研究』57集 10月
 教養知識人の運命—三四郎と実人生『漱石研究』5号 11月
 西尾幹二著『教育を掴む』（書評）『正論』11月号
 教養主義の盛衰（戦後50年—私と大学）『IDE 現代の高等教育』372号 12月
 サラリーマン型人間の終焉と進路指導『大学進学 Information』12月号

1996年

- 議論し、考える自己教育（特別企画／有識者アンケート価値観のゆらぎとこれからの教育）『進研ニュース [中学版]』1月号
 生き抜くすべは伝えられるか（筒井清忠などとの座談会）『世界』1月号
 立身出世と日本人（NHK 人間大学）日本放送出版協会 1月

沈黙教育と説明教育（連載「教育のぞきめがね」⑨）『大学進学研究』96号 2月
 軽やかな教育大衆化の危うさ 『THIS IS 読売』3月号
 「終身雇用+年功序列」という神話 『歴史街道』4月号
 日本のエリート学生はなぜ大学でふつうになる 『カレッジマネジメント』78号 5月
 沈黙の教育と説明教育 『月刊健康』5月号
 教養とキョウヨウ（連載「教育のぞきめがね」⑩）『大学進学研究』97号 5月
 日本のエリート学生はなぜ大学でふつうになる 『カレッジマネジメント』78号 5月
 R・ドーアの「学歴社会の打破」『教職研修 学校の役割転換』5月増刊号
 新教養論争よ巻き起これ（筒井清忠との対談）『RONZA』6月号
 パブリック・スクールのディレンマ：受験の時代と全人教育（連載「教育のぞきめがね」⑪）『大学進学研究』98号 7月
 就職と大学選び—学部・学科が同じでも大学が異なれば進路は違う 『螢雪時代』8月臨時増刊
 全国大学内容案内号
 文明の実験としての新エリート主義 『WEDGE』8月号
 サラリーマンという社会的表徴 井上俊他編『日本文化の社会学』（岩波講座現代社会学23巻）
 8月
 変貌するパブリック・スクール 『悠峰職業科学研究紀要』4巻 8月
 サラリーマン社会と大学—京大在学生調査と卒業生調査から 『IDE 現代の高等教育』379号
 8月
 大衆受験社会のパラドックス—欲望なき競争のゆくえ 『児童心理』10月号
 大衆受験社会と学卒労働市場—対応と揺らぎ 『日本労働社会学会年報』7号 12月
 ジェフリー・ウォルフオード著『パブリック・スクールの社会学—英国エリート教育の内幕』（海
 部優子と共訳）世界思想社 12月
 塾の“トゲ”に気をつけて 『小6 ピテカンくらぶ』学習研究社
 入れる大学より入りたい大学を選ぼう 『キャンパス・ブック』旺文社

1997年

パブリック・スクールと旧制高等学校 『クオリティ・ブリテン』1月
 日本社会の選抜システム—受験と昇進 真のエリート育成で大衆受験競争は正を（講演記録）
 『日本経済研究センター会報』3月15日号
 荻谷論文を読んで（『日本のメリトクラシー』荻谷剛彦氏による書評に対して）『社会学評論』188
 号 3月
 「平均教授」だらけになってもいいのか—京大が没落してゆく 『RONZA』4月号
 真の開国型エリート養成を 『産経新聞』4月2日夕刊東京版
 「教養」・「キョウヨウ」・「きょうよう」（リレー連載私の教養論）『京都大学新聞』4月16日
 今こそ、真のエリート教育を—「おぼっちゃまエリート」が求められる時代 『総合教育技術』
 52巻2号 5月
 学校・家庭・地域社会の教育分担に関する国際比較研究（学校・家庭・地域社会教育分担研究会
 代表）シー・ディー・アイ 6月
 心を磨かずして頭は鍛えられず！ 『歴史街道』7月号

- サラリーマン型人間像の誕生と終焉 中牧弘允・日置弘一郎編『経営人類学ことはじめ』東方出版 8月
- 旧制高校とパブリック・スクールにみるエリート教育の構造と機能の比較研究 文部省科学研究費補助金研究成果報告書 8月
- The self-activating entrance examination system:its hidden agenda and its correspondence with the Japanese “salary man” “Higher Education”, Vol.34 No.2 9月
- パブリック・スクールと旧制高校 『記念館だより』13号(旧制高等学校記念館) 10月
- 矢野眞和著『高等教育の経済分析と政策』(書評)『教育社会学研究』61集 10月
- 立身出世主義—近代日本のロマンと欲望 日本放送出版協会 11月
- 明治・大正のサラリーマンの「脳力開発法」『THE21』12月特別増刊号

1998年

- 旧制高等学校とパブリック・スクール—日英エリート教育の比較(講演記録)『学会会報』818号 1月
- 経済学との対話(飯田経夫との往復書簡)—経済学の間像に近い社会と遠い社会『経済セミナー』4月号
- 日本の教育と産業界(講演記録)『関西経済研究センター資料』4月
- 日本における昇進競争原理『別冊宝島373経営学・入門』4月
- 経済学との対話(飯田経夫との往復書簡)—透明な社会に生きる大学生『経済セミナー』6月号
- 企業のなかのメリトクラシー(能力主義)—その歴史と未来への提言『CREO』10巻1号 6月
- 家族を幸せにする、明治・大正の「家計簿やりくり学」『歴史街道』7月号
- 教育改革のシーソーゲーム—「経験主義」の失敗に触れず(教課審答申に思う)『京都新聞』7月6日
- 教育の温故知新『関西経協』8月号
- 経済学との対話(飯田経夫との往復書簡)—京都学派のもとをたどってみると……『経済セミナー』8月号
- 国益確保へ指導者教育(ニッポン大転換 新たな国づくり《5》)『日本経済新聞』8月17日
- 副田義也著『教育勅語の社会史』(書評)『社会学評論』49巻2号 9月
- 経済学との対話(飯田経夫との往復書簡)—インテリな人々が煽る欲望崇拜『経済セミナー』10月号
- 麻生誠・岩永雅也編『創造的才能教育』(書評)『教育社会学研究』63集 10月
- 学歴貴族・教育機会・ハビトゥス—旧制高校とパブリック・スクールにみる 佐伯胖他編『教育の政治経済学』(岩波講座現代の教育9巻) 11月
- 文化資本論再考 井上俊編『新版現代文化を学ぶ人のために』世界思想社 11月
- 経済学との対話(飯田経夫との往復書簡)—「困った大衆」と受験秀才の元祖『経済セミナー』12月号

1999年

- 学校教育と「物語」『JILリサーチ』36号 1月

- 教育の見直しに不可欠な指導者教育論議 『時局』2月号
 経済学との対話（飯田経夫との往復書簡）— 戦争が破算にした大学の失墜 『経済セミナー』2月号
 「平等」と「競争」という二律背反の戦後教育では「真ん中でいい」子供たちしか出ない 『SAPIO』2月24日号
 繰り延べさせられた大学紛争 『奈良女子大学社会学論集』6号（新睦人教授退官記念号）3月
 大渦の中の漁師（新卒業学士に贈る） 『学士会会報』823号 4月
 学歴エリート研究のすすめ（特集 21世紀の労働研究） 『日本労働協会雑誌』4月号
 学歴貴族の栄光と挫折（日本の近代12） 中央公論新社 4月
 「ちゅうさん」（交遊抄） 『日本経済新聞』6月5日
 理系学生でも哲学を学ぶムダとロマンの「旧制高校再考論」 『SAPIO』7月14日号
 世相ひとひねり（連載）「我慢」は日本型の積極思考 『日本経済新聞』8月3日夕刊
 世相ひとひねり（連載）地域振興券と米百俵 『日本経済新聞』8月10日夕刊
 世相ひとひねり（連載）「教養」と「きょうよう」 『日本経済新聞』8月17日夕刊
 世相ひとひねり（連載）「男女共同」と言うけれど 『日本経済新聞』8月24日夕刊
 世相ひとひねり（連載）いっそ“自費”講演会 『日本経済新聞』8月31日夕刊
 教養知識人のハビトゥスと身体 青木保他編『知識人』（近代日本文化論4）岩波書店 9月
 教養からの逃走—東大生・京大生の延命戦略 『中央公論』9月号
 世相ひとひねり（連載）「勉強」の時代 『日本経済新聞』9月7日夕刊
 世相ひとひねり（連載）四文字以上の学部 『日本経済新聞』9月14日夕刊
 世相ひとひねり（連載）文明の退屈史観 『日本経済新聞』9月21日夕刊
 世相ひとひねり（連載）ギャグとユーモア 『日本経済新聞』9月28日夕刊
 勉強ガンバリズムの構造と綻び 『季刊家計経済研究』44号 10月
 近代日本の学歴貴族の社会的出自と進路—第一高等学校入学者調査表と同窓会名簿の分析から
 （保田卓・薄葉毅史と共著） 『教育社会学研究』65集 10月
 学生文化と教養主義 『生活の設計』204号 10月
 世相ひとひねり（連載）教科書論争の死角 『日本経済新聞』10月5日夕刊
 世相ひとひねり（連載）ねじれ現象 『日本経済新聞』10月12日夕刊
 世相ひとひねり（連載）学歴リターンマッチの功罪 『日本経済新聞』10月19日夕刊
 世相ひとひねり（連載）学問の虫の住み家は…… 『日本経済新聞』10月26日夕刊

2000年

- 機会の平等と不平等（特集選抜社会のゆくえ） 『国際交流』86号 1月
 大衆モダニズムの夢の跡 『中央公論』1月号
 学歴エリート・教養・文化資本 宮島喬編『文化』（講座社会学7）東京大学出版会 3月
 階層格差に目ざめた日本人 『読売新聞』3月1日東京夕刊
 勉“弱”の時代におもう（巻頭随想） 『大学進学研究』114号 5月
 エリート教育は必要か（シンポジウム記録 読売国際会2005年5月フォーラム） 『読売新聞』5月25日東京夕刊
 旧制高校の同窓会 『IDE 現代の高等教育』419号 6月

- 生徒の学力低下や勉強離れ、ゆとり・卓越性の共存を 『日本経済新聞』 7月15日
 大学生の私語 『文藝春秋』 8月号
 憂うべき才能の浪費—エリート教育は必要か 『読売ぶっくれっと』 23号 8月
 タキエ・スギヤマ・リブラ著『近代日本の上流階級—華族のエスノグラフィー』（海部優子・井上義和と共訳） 世界思想社 8月
 浅羽通明著『野望としての教養』（書評） 『京都新聞』 8月6日
 日本の教育社会学—過去と未来 藤田英典・志水宏吉編『変動社会のなかの教育・知識・権力—問題としての教育改革・教師・学校文化』 新曜社 9月
 書評に答えて（『学歴貴族の栄光と挫折』 高橋一郎による書評に対して） 『ソシオロジ』 139号 10月
 佐藤俊樹著『不平等社会日本』（書評） 『中央公論』 10月号
 学者・官僚・文士 『NEWS LETTER』 1号（京都大学大学院教育学研究科） 11月
 戦後教育の光と影（講演記録） 『日本文理大学商経学会誌』 19巻1号 11月
 入試と受験の100年 『IDE 現代の高等教育』 424号 12月
 一橋パワーの秘密—石原慎太郎そして田中康夫 『中央公論』 12月号

2001年

- スポーツ・エリート・ハビトゥス（デビット・ノッターと共著） 『体育教育を学ぶ人のために』 世界思想社 1月
 大学という病（連載） 『中央公論』 1月-8月号
 近代日本と旧制高等学校—パブリック・スクールを合わせ鏡に（四高開学115年特集） 『北國文華』 7号 3月
 近代の説明教育見直すとき（教育のゆくえ 5） 『京都新聞』 3月15日
 専門学部方式を撤廃せよ（特集 教育「百年の計」） 『Voice』 4月号
 「ひけらかす」教養と「じゃまをする」教養 『世界思想』 28号 4月
 田中康夫（人間の記録） 『ブリタニカ国際年鑑2001』 4月
 京都大学町人論 『京都大学新聞』 4月1日
 大衆受験社会の終焉 『教育と医学』 5月号
 教育における伝統—「教える」「学ぶ」「育む」 『おかやま経済同友』 397号 5月
 大衆モダニズムの夢の跡—彷徨する「教養」と大学 新曜社 5月
 識者100人アンケート—近・現代史を知る500の良書 『諸君!』 7月号
 学歴中流願望の盛衰と含意 『季刊家計経済研究』 51号 7月
 学歴社会の誕生・病理・未来像（夏に読もう!この三〇冊 日本の教育を考える） 『経済セミナー』 8月号
 「学校外学習時間の減少」は、危機なのか 『総合教育技術』 9月号
 大学という病—東大紛擾と教授群像 中央公論新社 9月
 論争・東大崩壊（中公新書ラクレ編集部と共編） 中央公論新社（中公新書ラクレ） 10月
 総合雑誌と教養主義 『日本教育史往来』 134号 10月
 広田照幸著『教育言説の歴史社会学』（書評） 『教育社会学研究』 69集 10月

2002年

- 教養の復権と河合栄治郎 河合栄治郎研究会編『教養の思想—その再評価から新たなアプローチへ』社会思想社 2月
- 大学院時代のために戦前型専門学部制の改革を『IDE 現代の高等教育』436号 2月
- 苅谷剛彦著『階層化日本と教育危機』（書評）『日本労働研究雑誌』2・3月号
- 学校システム論—子ども・学校・社会 放送大学教育振興会 3月
- 学校が輝いたとき 竹内洋編著『学校システム論』放送大学教育振興会 3月
- パブリック・スクールというノスタルジア(1・2) 竹内洋編著『学校システム論』放送大学教育振興会 3月
- 反抗少年トニー・ブレアとパブリック・スクール 竹内洋編著『学校システム論』放送大学教育振興会 3月
- 学校・教育・学び 竹内洋編著『学校システム論』放送大学教育振興会 3月
- 苅谷剛彦著『教育改革の幻想』（書評）『週刊文春』3月21日号
- 不良・ヒーロー・左傾—教育と逸脱の社会学(稲垣恭子と共編) 人文書院 4月
- 「左傾学生」の群像 稲垣恭子・竹内洋編『不良・ヒーロー・左傾—教育と逸脱の社会学』人文書院 4月
- 勉強ガンバリズムの綻びとこれからの人材育成『市場主義経済と「日本型資本主義」のあり方』関西社会経済研究所 4月
- 研究職に就くためには博士号取得が必須条件『大学ランキング 2003年度版』朝日新聞社 5月
- 反抗少年トニー・ブレア(巻頭論文 新世紀の教育)『教職研修』6月号
- 東京高等学校同窓会編『ジェントルマン教育の軌跡 旧制東京高等学校』(書評)『IDE 現代の高等教育』440号 7月
- 学び 教育のあしたを探る(木原俊行・園田英弘との座談会記録)『読売新聞』7月10-12日夕刊
- 誌上講義 竹内博士の「高等教育論」—読まずに大学がわかる12冊+1『YOMIURI WEEKLY』8月27日臨時増刊号
- 大衆教育時代におけるエリート中等学校の学校文化と人間形成に関する比較研究(研究代表者) 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書 10月
- イギリスの私立中等学校における親の階層と文化的・社会的再生産『大衆教育時代におけるエリート中等学校の学校文化と人間形成に関する比較研究』10月
- 三軒の隠れ家『帰れ自然へ!』10月号
- 「普請中国家」『NEWS LETTER』5号(京都大学大学院教育学研究科) 10月

2003年

- ローゼンボーム『キャリア移動』(特集 労働研究の流れを変えた本・論文)『日本労働研究雑誌』4月号
- 佐々木啓子著『戦前期女子高等教育の量的拡大過程』(書評)『日本歴史』5月号
- 大阪人は人柄が悪いか(ぶらり日本語)『日本語学』6月号
- 教養主義の没落—変わりゆくエリート学生文化 中央公論新社(中公新書) 7月
- 佐藤卓己編『戦後世論のメディア社会学』(書評)『京都新聞』7月27日

高橋俊介著『キャリア論』(書評)『エコノミスト』8月5日号
 パブリック・スクールにおける教育的懲罰の文明化過程—ハロウ校『懲罰記録簿』(1888-1965
 年)の分析を通じて(林晃子と共著)『悠峰職業科学研究紀要』11巻 10月
 大学は三年制で十分だ『財界展望』10月号
 学生の左傾化はなぜ終わったか—昭和史20の争点 秦邦彦編『日本人の常識』文藝春秋 10月
 星亮一著『山川健次郎伝』(書評)『週刊ポスト』11月14日号
 教育制度と勉「弱」社会 宮本又郎他著『日本型資本主義』有斐閣 12月
 負け犬のための「教養」(山崎正和との対談)『諸君!』12月号

2004年

教養主義から学び社会へ—たしなみ系とため込み系『国民生活』1月号
 されど青春(潮音風声)『読売新聞』1月7日大阪夕刊
 百年後の日本(潮音風声)『読売新聞』1月14日大阪夕刊
 サクラチル(潮音風声)『読売新聞』1月21日大阪夕刊
 教養主義の盛衰(講演記録)『社会と倫理』16号 2月
 野蛮から文明へ(潮音風声)『読売新聞』2月2日大阪夕刊
 「学歴貴族」の私(潮音風声)『読売新聞』2月9日大阪夕刊
 遊民型学生(潮音風声)『読売新聞』2月17日大阪夕刊
 未知数(潮音風声)『読売新聞』2月26日大阪夕刊
 丸山眞男と蓑田胸喜『諸君!』3月号
 ニックネーム(潮音風声)『読売新聞』3月4日大阪夕刊
 日本教(潮音風声)『読売新聞』3月10日大阪夕刊
 ラブレター(潮音風声)『読売新聞』3月25日大阪夕刊
 新しい「教養」のかたちを探って(高村薫との対談)『別冊宝島981 高村薫の本』4月
 「私」という謎(ミステリー)にせまる歴史からの視点『別冊宝島981 高村薫の本』4月
 パブリック・スクール(巻頭言)『青少年問題』4月号
 知識人の野望—解題にかえて『知識人とファシズム—近衛新体制と昭和研究会』柏書房 4月
 溝上慎一著『現代大学生論』(書評)『京都新聞』5月16日
 知識人の大衆戦略と帰趨『WEDGE』7月号
 磯田光一『比較転向論序説』(古典再読)『中央公論』8月号
 大学の「教科書」の昔と今『大学出版』62号 9月
 蓑田胸喜伝序説—前半生を中心に『蓑田胸喜全集』1巻 柏書房 10月
 解題—『学術維新原理日本』『蓑田胸喜全集』3巻 柏書房 10月
 蓑田胸喜全集(全7巻)(佐藤卓己・植村和秀他と共編) 柏書房 11月
 植村和秀著『丸山眞男と平泉澄』(書評)『京都新聞』11月28日
 棚ボタ学歴エリートだった漱石『文藝春秋』12月臨時増刊号特別版
 吉田文・広田照幸編『職業と選抜の歴史社会学』(書評)『日本経済新聞』12月5日
 IEAの国際数理調査 日本 小中も学力低下 過剰反応はやめて『高知新聞』12月15日
 昭和初期の右翼思想家・蓑田胸喜『読売新聞』12月15日東京夕刊
 『蓑田胸喜全集』全7巻刊行 国家主義の深層分析へ一步『熊本日日新聞』12月18日

2005年

- 解説 学歴社会の誕生と変貌を見通すころみ 天野郁夫著『学歴の社会史』平凡社 1月
- 植村和秀著『丸山真男と平泉澄』（書評）『諸君！』1月号
- 中野実著『近代日本大学制度の成立』（書評）『日本歴史』1月号
- ピーター・ゲイ著『シュニツラーの世紀』（書評）『読売新聞』1月16日
- 中村彰彦著『落花は枝に還らずとも』（書評）『読売新聞』2月6日
- 馬場公彦著『「ビルマの竖琴」をめぐる戦後史』（書評）『読売新聞』2月13日
- 松尾尊允著『滝川事件』（書評）『読売新聞』2月20日
- 立身出世主義—近代日本のロマンと欲望（増補版）世界思想社 3月
- 『当世書生氣質』から団塊まで 学生文化の100年（「新・日本学講座 関西発」第3期第5回の講義）『産経新聞』3月12日大阪版
- 宮原浩二郎著『論力の時代』（書評）『読売新聞』3月13日
- 山内乾史・原清治著『学力論争とはなんだったのか』、荻谷剛彦・志水宏吉編『学力の社会学』（書評）『読売新聞』3月27日
- 「バブル学力」崩壊後の大衆“勉強”社会を歓迎する『中央公論』4月号
- 谷沢永一著『遊星群 時代を語る好書録 明治篇・大正篇』（書評）『読売新聞』4月10日
- 筒井清忠著『西條八十』（書評）『読売新聞』4月17日
- 秋山真志著『職業外伝』（書評）『読売新聞』5月1日
- 小林泰夫・山本泰編『教養のためのブックガイド』（書評）『週刊文春』5月19日号
- 河原和枝著『日常からの文化社会学』（書評）『読売新聞』5月22日
- 同窓会 ひそかなブーム『読売新聞』5月29日
- 小谷野敦著『恋愛の昭和史』（書評）『読売新聞』5月29日
- 本田由紀著『若者と仕事』（書評）『読売新聞』6月5日
- エリートのガラガラポン『産経新聞』6月23日
- 佐藤秀夫著『教育の文化史 2』（書評）『読売新聞』6月26日
- 園田英弘編『逆欠如の日本生活文化』（書評）『読売新聞』7月31日
- 加地伸行著『論語』（書評）『読売新聞』8月7日
- 佐藤卓己著『八月十五日の神話』（書評）『読売新聞』8月14日
- 細辻恵子著『揺らく社会の女性と子ども』（書評）『読売新聞』8月21日
- 歴史のなかの学生文化『IDE 現代の高等教育』473号 9月
- 大竹文雄著『日本の不平等』（書評）『読売新聞』9月4日
- 三浦展著『団塊世代を総括する』（書評）『読売新聞』9月11日
- アラン・ヴィアラ著『作家の誕生』（書評）『読売新聞』10月2日
- 石附実著『教育における比較と旅』（書評）『読売新聞』10月9日
- 高村薫著『新リア王』（書評）『読売新聞』10月31日
- 丸山真男の時代—大学・知識人・ジャーナリズム 中央公論新社 11月
- 小林章夫著『教育とは—イギリスの学校からまなぶ』（書評）『読売新聞』11月6日
- 岩内先生の思い出『故・岩内亮一氏を偲んで』12月
- 消える日本語—立身出世『文藝春秋』12月号
- 集団就職の時代（半歩遅れの読書術）『日本経済新聞』12月4日

浜本隆史著『モノが語るドイツ精神』（書評）『読売新聞』12月4日
 丸山真男の素顔（半歩遅れの読書術）『日本経済新聞』12月11日
 和久利康一著『丸山真男研究』（書評）『日本経済新聞』12月11日
 英国のジェントルマン（半歩遅れの読書術）『日本経済新聞』12月18日
 小浜逸郎著『「責任」はだれにあるのか』（書評）『読売新聞』12月18日
 織田元子著『ステッキと山高帽』（書評）『日本経済新聞』12月18日
 大竹文雄著『日本の不平等』、猪木武徳著『文芸にあらわれた日本の近代』、高村薫著『新リア王』
 （以上、2005年お薦めの3冊）（書評）『読売新聞』12月25日

2006年

立花隆著『天皇と東大（上・下）』（書評）『日経新聞』1月29日
 大学転落物語—教養の砦から若年失業者の収容所へ（潮木守一氏と対談）『中央公論』2月号
 日本主義的教養の時代—大学批判の古層（佐藤卓己と共編）柏書房 2月
 コリン・ウィルソン著『コリン・ウィルソンのすべて』（書評）『読売新聞』2月1日
 水木楊著『東大法学部』（書評）『週刊文春』2月2日号
 ウィリアム・サンセット・モーム著『回転木馬』（書評）『読売新聞』2月5日
 萱野聡美著『(変態)の時代』（書評）『読売新聞』2月19日
 佐藤賢一著『褐色の文豪』（書評）『読売新聞』2月26日
 新しい『教養』のかたちを探る 『高村薫の本』（文庫本化）宝島社文庫 3月
 明治学校システムと漱石—宙吊りという特権 『国文学』51(3) 3月
 格差社会 中核世代に対処法を 『毎日新聞』3月4日
 非エリート文化のきざし 『毎日新聞』3月4日
 天野郁夫著『大学改革の社会学』（書評）『読売新聞』3月12日
 フランク＝ロタール・クロー著『ナチズムの歴史思想』（書評）『読売新聞』4月9日
 ピエール・ブルデュー著『住宅市場の社会経済学』（書評）『読売新聞』4月23日
 鈴木晶子編『これは教育学ではない』（書評）『読売新聞』4月30日
 「丸山真男の時代」余滴 『理』8号 2006年春号
 佐伯啓思著『学問の力』（書評）『読売新聞』5月14日
 R・D・パットナム著『孤独なボウリング』（書評）『読売新聞』5月28日
 日本ファシズムの知的起源（佐藤卓己とのトークイベント）『週刊読書人』6月23日
 解説 松本健一著『日本の失敗』岩波現代文庫 6月
 立身出世主義の反転 『新日本古典文学大系』明治編第11巻 岩波書店 6月
 「ヒラ」の意地と誇りを 『人間会議』2006年夏号 宣伝会議 6月
 鼎談「没後10年丸山真男を語る」（橋本五郎・荻部直と）上・下 『読売新聞』6月13日・14日
 鳥越碧著『漱石の妻』（書評）『読売新聞』6月18日
 福岡良明著『「反戦」のメディア史』（書評）『熊本日日新聞』6月25日
 正当は立身出世からの逸脱 『東京新聞』6月28日夕刊
 日本を磨く（美と徳をみつめて）『日本経済新聞』6月30日
 福田誠治著『競争やめたら学力世界一』（書評）『読売新聞』7月2日
 戦前右翼の源流を解く 『読売新聞』7月12日

- 鈴木邦男著『愛国者は信用できるか』（書評）『読売新聞』7月16日
 クリフト・シャルル著『「知識人」の誕生』（書評）『読売新聞』7月30日
 読売新聞教育取材班著『教育ルネサンス 教師力』（書評）『読売新聞』8月6日
 社会変化映したその奇跡（丸山真男没後10年）『毎日新聞』8月13日
 坪内祐三著『同時代も歴史である 一九七九年問題』（書評）『読売新聞』8月13日
 河崎吉紀著『制度化される新聞記者』（書評）『読売新聞』8月27日
 根井雅弘著『物語 現代経済学』（書評）『読売新聞』9月10日
 佐藤卓巳著『メディア社会』（書評）『週刊東洋経済』9月16日号
 潮木守一著『大学再生への具体像』（書評）『週刊東洋経済』9月16日号
 松沢弘陽・植手通有編『丸山真男回顧談 上』（書評）『読売新聞』9月17日
 学問の下流化とオタク化 『葦』関西大学創立120周年記念号 関西大学教育後援会 秋冬号
 急増する大学院をバブルにしないための重要施策 『日本人のちから』第37号 東京財団 10月
 石田あゆ著『ミッチー・ブーム』（書評）『京都新聞』10月1日
 橋本健二著『階級社会』（書評）『読売新聞』10月8日
 富岡幸一郎著『新大東亜戦争肯定論』（書評）『読売新聞』10月15日
 井上章一著『夢と魅惑の全体主義』（書評）『読売新聞』10月22日
 小阪修平著『思想としての全共闘世代』（書評）『週刊東洋経済』10月14日号
 寺島実郎著『われら戦後世代の「坂の上の雲」』（書評）『週刊東洋経済』10月14日号
 松本健一著『司馬遼太郎が発見した日本』（書評）『読売新聞』11月5日
 佐藤八寿子著『ミッション・スクール』（書評）『週刊東洋経済』11月11日号
 薬師院仁志著『日本とフランス 二つの民主主義』（書評）『週刊東洋経済』11月11日号
 桂秀実著『1968年』（書評）『読売新聞』11月19日
 W・D・ルービンSTEIN著『衰退しない大英帝国 その経済・文化・教育 1750-1990』（書評）
 『論座』12月号
 西本郁子著『時間意識の近代』（書評）『読売新聞』12月3日
 安部謹也著『歴史家の自画像』（書評）『読売新聞』12月10日
 一五歳のこだわり 稲垣恭子編『子ども・学校・社会—教育と文化の社会学』世界思想社 12
 月20日
 橋本健二著『階級社会』（書評）『読売新聞』12月24日
 ロバート・パットナム著『孤独なボウリング』（書評）『読売新聞』12月24日
 本山幸彦著『近世儒者の思想挑戦』（書評）『読売新聞』12月24日

2007年

- 今を読み解く 『日本経済新聞』1月7日
 橋本健二著『階級社会』（書評）『日本経済新聞』1月7日
 日本の未来研究会編『大予測』（書評）『日本経済新聞』1月7日
 ロバート・パットナム著『孤独なボウリング』（書評）『日本経済新聞』1月7日
 西村稔著『福澤諭吉 国家理性と文明の道徳』（書評）『週刊東洋経済』1月20日号
 村田晃嗣著『プレイバック 1980年代』（書評）『週刊東洋経済』1月20日号
 公共心育てるソフト作れ 『日本を磨く』日本経済新聞社 2月

- 東大・京大との分断化を決定づける「これでいいのだ」文化 『中央公論』2月号
 教育不信という深刻な病 学校力・教師力の回復を 『京都新聞』2月12日
 フランシス・フクヤマ著 会田弘継訳『アメリカの終わり』（書評）『週刊東洋経済』2月17日号
- 浅羽通明著『右翼と左翼』（書評）『週刊東洋経済』2月17日号
 朝倉喬司著『スキャンダリズムの明治』（書評）『週刊東洋経済』2月24日号
 鈴木直著『輸入学問の功罪—この翻訳わかりますか?』（書評）『週刊東洋経済』3月10日号
 ピエール・ブルデュー著 水島和則訳『リフレクシヴ・ソシオロジーへの招待』（書評）『週刊東洋経済』3月10日号
- 稲垣恭子著『女学校と女学生』（書評）『週刊東洋経済』3月31日号
 The Dumbing Down of College Culture “Japan Echo”, Vol.34, No.2 4月
 晩年の学問 『世界思想』34号 4月
 学校システム論（改訂版）放送大学教育振興会 4月
 大獄秀夫著『新左翼の遺産—ニューレフトからポストモダンへ』（書評）『週刊東洋経済』4月7日号
- ミシェル・ヴィノック著 塚原史ほか訳『知識人の時代』（書評）『週刊東洋経済』4月7日号
 著書を持参の学生に感激 『読売新聞』4月12日
- A・E・バーシェイ著 山田鋭夫訳『近代日本の社会科学—丸山真男と宇野弘蔵の射程』（書評）『日本経済新聞』4月22日
- 石原千秋著『百年前の私たち—雑書から見る男と女』（書評）『週刊東洋経済』5月12日号
 池田功・上田博著『明治の職業往来—名作に描かれた明治人の生活』（書評）『週刊東洋経済』5月12日号
- 折田彦市 京大の自由な学風の礎築く（私流この偉人—京滋の歴史から28）『京都新聞』5月20日
- 佐藤優著『国家と神とマルクス』（書評）『週刊東洋経済』6月9日号
 佐藤優著『日米開戦の真実』（書評）『週刊東洋経済』6月9日号
 菊池信平編『昭和十二年の「週刊文春」』（書評）『週刊東洋経済』7月7日号
 椎根和著『平凡パンチの三島由紀夫』（書評）『週刊東洋経済』7月7日号
 知識人とヤクザ 『Int'lecowk』62巻 8月
- 石原千秋著『秘伝 大学受験の国語力』（書評）『波』8月号
 原武史著『滝山コミュニケーション 一九七四』（書評）『週刊東洋経済』8月4日号
 三浦展著『団塊世代の戦後史』（書評）『週刊東洋経済』8月5日号
 浅羽通明著『野望としての教養』（書評）『京都新聞』8月6日
 石原千秋著『秘伝 大学受験の国語力』（書評）『産経新聞』8月12日
 逝きし日美しい話（旅の途中）『日本経済新聞』9月5日
- 北康利著『福沢諭吉 国を支えて国を頼らず』（書評）『週刊東洋経済』9月29日号
 久保文明編著『超大国アメリカの素顔』（書評）『週刊東洋経済』9月29日号
 谷口克広著『信長と消えた家臣たち』（書評）『週刊東洋経済』9月29日号
 血となり肉となった三冊 『諸君!』10月号
 「あとがき」というけれど（旅の途中）『日本経済新聞』10月4日

- 小国喜弘著『戦後教育のなかの〈国民〉—乱反射するナショナリズム』（書評）『日本経済新聞』
10月4日
- 枝川公一著『バーのある人生』（書評）『週刊東洋経済』10月13日号
- 石井妙子著『おそめ』（書評）『週刊東洋経済』10月13日号
- 階級の再生産か新庶民文化の芽生えか？『神奈川大学評論』58号 11月
- 奇人変人教授の時代（旅の途中）『日本経済新聞』11月1日
- 黄順姫著『同窓会の社会学』（書評）『週刊東洋経済』11月3日号
- 小池真理子著『望みは何と訊かれたら』（書評）『週刊東洋経済』11月10日号
- 片山杜秀著『近代日本の右翼思想』（書評）『週刊東洋経済』11月10日号
- 苅部直著『移りゆく「教養」』（書評）『神戸新聞』11月25日
- 永嶺重敏著『東大生はどんな本を読んできたか』（書評）『京都新聞』11月25日
- 問題時だったトニー・ブレア（旅の途中）『日本経済新聞』11月29日
- 革新幻想の戦後史①—三島由紀夫が描いた都知事選 『諸君！』12月号
- 天野正子著『「つきあい」の戦後史—サークル・ネットワークの拓く地平』（書評）『日本歴史』
12月号（715号）
- 君塚直隆著『ヴィクトリア女王—大英帝国の戦う女王』（書評）『週刊東洋経済』12月8日号
- 永谷健著『富豪の時代—実業エリートと近代日本』（書評）『週刊東洋経済』12月8日号
- 市川昭午・貝塚茂樹監修『文献選集 《愛国心》と教育（全13巻）』（書評）日本図書センターリ
ーフレット
- 盛山和夫・原純輔・白波瀬佐和子編『リーディングス 戦後日本の格差と不平等（全3巻）』（書
評）日本図書センターリーフレット

2008年

- 解説 中村彰彦著『落花は枝に還らずとも 下—会津藩士・秋月悌次郎』中央公論新社 1月
- 革新幻想の戦後史②—北一輝は戦後も佐渡の英雄だった 『諸君！』1月号
- 苅部直著『移りゆく「教養」』（書評）『週刊東洋経済』1月19日号
- 福田恆存であれば…（旅の途中）『日本経済新聞』1月31日
- 革新幻想の戦後史③—丸山眞男が隠蔽したインテリの罪 『諸君！』2月号
- 井上忠司著『「世間体」の構造』（書評）『週刊東洋経済』2月2日号
- 筒井清忠著『昭和十年代の陸軍と政治—軍部大臣現役武官制の虚像と実像』（書評）『週刊東洋
経済』2月2日号
- 革新幻想の戦後史④—大衆をつかみ損ねた民社党の不運 『諸君！』3月号
- 中野翠著『本日、東京ロマンチカ』（書評）『週刊東洋経済』3月1日号
- 吉村澄代著『素顔の中国—街と人と暮らし55話』（書評）『週刊東洋経済』3月1日号
- 思いて学ばざれば（旅の途中）『日本経済新聞』3月28日
- 佐伯啓思著『日本の愛国心』（書評）『週刊東洋経済』3月29日号
- 綾辻行人著『深泥丘奇談』（書評）『週刊東洋経済』3月29日号
- 大学批判の歴史社会学—知識人的公共圏の成立と変容（稲垣恭子他編）文部科学省科学研究費
補助金研究成果報告書 3月
- 革新幻想の戦後史⑤—『世界』はどれだけ読まれていたのか 『諸君！』4月号

- 諸悪の根源は大学無格差社会 『2009年版大学ランキング』朝日新聞出版 4月
 社会学の名著30 ちくま書房 4月
 ノン・エリートの意地と誇り(旅の途中) 『日本経済新聞』4月3日
 清水義弘先生追悼集刊行委員会編『清水義弘、その仕事』(書評) 『週刊東洋経済』4月5日号
 戦後左派が作った虚像(「格差」を問う2) 『京都新聞』4月13日
 潮木守一著『いくさの響きを聞きながら』(書評) 『週刊東洋経済』4月26日号
 猪木武徳著『戦間期日本の社会集団とネットワーク—デモクラシーと中間団体』(書評) 『週刊東洋経済』4月26日号
 革新幻想の戦後史⑥—進歩的『世界』族と大衆の溝は深かった 『諸君!』5月号
 すべったジョークの数々(旅の途中) 『日本経済新聞』5月1日
 早見慶子著『I LOVE 過激派』(書評) 『週刊東洋経済』5月3・10日号
 佐藤優著『私のマルクス』(書評) 『週刊東洋経済』5月24日号
 佐藤卓己著『テレビ的教養』(書評) 『日本経済新聞』5月25日
 本山美彦著『金融権力』(書評) 『京都新聞』5月25日
 「三四郎」のそれからを推理(旅の途中) 『日本経済新聞』5月29日
 上久保敏著『下村治「日本経済学」の実践者』、瀬崎圭二著『流行と虚栄の生成』(書評) 『週刊東洋経済』5月31日号
 革新幻想の戦後史⑦—『世界』族の小春日和 『諸君!』6月号
 社会とつながる言葉が欠落 『京都新聞』6月12日
 秋葉原事件と朝日平吾(旅の途中) 『日本経済新聞』6月26日
 含羞という美しい文化 『文藝春秋 SPECIAL』季刊夏号 Summer No.5 7月
 革新幻想の戦後史⑧—進歩的教育学者の牙城・東大教育学部 『諸君!』7月号
 林真理子著『RURIKO』(書評) 『週刊東洋経済』7月26日号
 井上和義著『日本主義と東京大学—昭和期学生思想運動の系譜』(書評) 『週刊東洋経済』7月26日号
 大分県教員の採用・昇任汚職 『坊ちゃん』が見抜いた本質 『毎日新聞』7月31日
 革新幻想の戦後史⑨—進歩的教育学者と教育社会学者の確執 『諸君!』8月号
 高橋英夫著『偉大なる暗闘—師 岩元禎と弟子たち』(書評) 『朝日新聞』8月17日
 林真理子著『本を読む女』(書評) 『朝日新聞』8月17日
 佐藤卓己著『テレビ的教養の時代—一億総博知化への系譜』(書評) 『朝日新聞』8月17日
 感情めぐる天秤棒の法則(旅の途中) 『日本経済新聞』8月21日
 服部龍二著『広田弘毅—「悲劇の宰相」の実像』(書評) 『週刊東洋経済』8月30日号
 文春新書編集部編『昭和二十年の「文藝春秋」』(書評) 『週刊東洋経済』8月30日号
 とんだ間違い(書物逍遙) 『ミネルヴァ通信』9月号
 革新幻想の戦後史⑩—どこかおかしい教育学 『諸君!』9月号
 奇人変人教授列伝 『紅萌』14号 9月
 高田里恵子著『学歴・階級・軍隊—兵士たちの憂鬱な日常』(書評) 『産経新聞』9月7日
 失われた学力の淵源(旅の途中) 『日本経済新聞』9月18日
 海野道郎・片瀬一男編『「失われた時代」の高校生の意識』(書評) 『週刊東洋経済』9月27日号
 リチャード・ルビンジャー著 川村肇訳『日本人のリテラシー—1600-1900年』(書評) 『週刊

- 東洋経済』9月27日号
 学問の下流化 中央公論新社 10月
 革新幻想の戦後史⑪—知識人の欲望と教育学支配（ベタゴクラシー）『諸君！』10月号
 井上章一著『日本に古代はあったのか』（書評）『熊本日日新聞』10月5日
 下戸女房に上戸亭主 『日本経済新聞』10月15日
 革新幻想の戦後史⑫—北小路昂と北小路敏 『諸君！』11月号
 学部は三年制に（私の提言）『日本教育』373号 11月
 高橋眞司著『九鬼隆一の研究—隆一・波津子・周造』（書評）『産経新聞』11月2日
 格差社会と危険社会（旅の途中）『日本経済新聞』11月12日
 会田弘継著『追跡・アメリカの思想家たち』（書評）『週刊東洋経済』11月22日号
 浅見雅男著『皇族誕生』（書評）『週刊東洋経済』11月22日号
 革新幻想の戦後史⑬—「おい、おっさん早く書かんか」『諸君！』12月号
 『箴言と考察』（ラ・ロシュフコオ／岩波文庫）（大アンケート死ぬまでに絶対読みたい本—読書
 52 人生涯の一冊）『文藝春秋』12月号
 こんな辞典がほしい（旅の途中）『日本経済新聞』12月10日
 今谷明著『封建制の文明史観—近代化をもたらした歴史の遺産』（書評）『熊本日日新聞』12月
 14日
 西尾幹二著『真贋の洞察』（書評）『週刊東洋経済』12月20日号
 福田恆存著『福田恆存評論集—第5巻批評家の手帖』（書評）『週刊東洋経済』12月20日号
 佐伯啓思著『日本の愛国心』（書評）『京都新聞』12月28日
 井上義和著『日本主義と東京大学—昭和期学生思想運動の系譜』（書評）『京都新聞』12月28
 日
 東浩紀・北田暁大著『思想地図 vol.1』（書評）『京都新聞』12月28日

2009年

- 革新幻想の戦後史⑭—皇国少年と平和・民主主義少年 『諸君！』1月号
 ネーミングはむつかしい（旅の途中）『日本経済新聞』1月14日
 現代演劇協会監修『福田恆存戯曲全集 第5巻』（書評）『週刊東洋経済』1月24日号
 結秀実著『吉本隆明の時代』（書評）『週刊東洋経済』1月24日号
 革新幻想の戦後史⑮—「進歩的文化人」と「保守反動」『諸君！』2月号
 旧制高校生が本を読み出したとき（日本人は本が好き）『文藝春秋 SPECIAL』季刊春号8号 2月
 漱石と子規の入学試験（旅の途中）『日本経済新聞』2月16日
 内田樹著『昭和のエートス』（書評）『週刊東洋経済』2月21日号
 福永文夫著『大平正芳』（書評）『週刊東洋経済』2月21日号
 革新幻想の戦後史⑯—剽窃まがいは福田恆存か清水幾太郎か 『諸君！』3月号
 政治家／不安と孤独にひとり堪えよ（私の視点）『朝日新聞』3月3日
 西尾幹二著『三島由紀夫の死と私』（書評）『熊本日々新聞』3月8日
 菅野昭著『憂鬱の文学史』（書評）『週刊東洋経済』3月21日号
 吉見俊哉著『ポスト戦後社会』（書評）『週刊東洋経済』3月21日号
 革新幻想の戦後史⑰—「解つてたまるか！」と福田恆存 『諸君！』4月号

- 高等教育の普及は下等大衆社会の普及なり 『世界思想』36号 4月
 博士インフレゆえ質の低下は否めない 『2010年版大学ランキング』朝日新聞出版 4月
 「日本の経営」の神話(旅の途中) 『日本経済新聞』4月13日
 田中久文著『丸山眞男を読みなおす』(書評) 『週刊東洋経済』4月18日号
 高野清弘著『政治と宗教のはざままで』(書評) 『週刊東洋経済』4月18日号
 革新幻想の戦後史⑩—進歩的文化人、コメンテーター、下流大衆社会 『諸君!』5月号
 ノンフィクションだから書けた『大学という病』 『現代プレミア—ノンフィクションと教養』講談社 5月
 小林雅之著『大学進学の世界』(書評) 『週刊東洋経済』5月16日号
 吉川徹著『学歴分断社会』(書評) 『週刊東洋経済』5月16日号
 福岡良明著『「戦争体験」の戦後史—世代・教養・イデオロギー』(書評) 『熊本日日新聞』5月17日
 KY バッシングの元祖は? (旅の途中) 『日本経済新聞』5月18日
 猪木武徳著『大学の反省』(書評) 『日本経済新聞』5月24日
 革新幻想の戦後史⑩—進歩的文化人の変身 『諸君!』6月号
 清水幾太郎—正系インテリに抗った論壇の田中角栄 『諸君!』6月号
 黄順姫著『同窓会の社会学—学校的身体文化・信頼・ネットワーク』(書評) 『社会学評論』60巻1号 6月
 鹿島茂著『吉本隆明1968』(書評) 『週刊東洋経済』6月13日号
 筒井清忠著『近衛文麿』(書評) 『週刊東洋経済』6月13日号
 「教師」と「教員」(旅の途中) 『日本経済新聞』6月15日
 ニッコロ・マキアヴェッリ著 佐々木毅訳『君主論』(書評) 『週刊東洋経済』6月27日号
 文化資本 プルデュエ『ディスタンクシオン』他 井上俊・伊藤公雄編『文化の社会学』(社会学ベーシックス3) 世界思想社 7月
 佐藤卓己著『歴史学』(書評) 『週刊東洋経済』7月11日号
 小山常美著『歴史教科書が隠してきたもの』(書評) 『週刊東洋経済』7月11日号
 合コンと合ハイ(旅の途中) 『日本経済新聞』7月13日
 天野郁夫著『大学の誕生(上・下)』(書評) 『日本経済新聞』7月26日
 稲葉振一郎著『社会学入門』(書評) 『熊本日日新聞』8月2日
 小熊英二著『1968(上)』(書評) 『週刊東洋経済』8月8日号
 毎日新聞社編『1968年に日本と世界で起こったこと』(書評) 『週刊東洋経済』8月8日号
 一九三〇年代の全共闘運動(旅の途中) 『日本経済新聞』8月17日
 辻原登著『許されざる者(上下)』(書評) 『週刊東洋経済』9月5日号
 磯崎憲一郎著『終の住処』(書評) 『週刊東洋経済』9月5日号
 私の志望職業遍歴(旅の途中) 『日本経済新聞』9月14日
 ピーター・F・ドラッカー著 牧野洋訳『知の巨人ドラッカー自伝』(書評) 『週刊東洋経済』10月3日号
 ベネディクト・アンダーソン著 加藤剛訳『ヤシガラ椀の外へ』(書評) 『週刊東洋経済』10月3日号
 菅野昭正著『明日への回想』(書評) 『熊本日日新聞』10月11日

橋本俊詔著『東京大学—エリート養成機関の盛衰』（書評）『週刊東洋経済』10月17日号
 高原基彰著『現代日本の転機』（書評）『週刊東洋経済』11月7日号
 佐々木敦著『ニッポンの思想』（書評）『週刊東洋経済』11月7日号
 上から目線 教育・指導ままたらぬ（いやはや語辞典）『読売新聞』11月27日夕刊
 水月昭道著『アカデミア・サバイバル』（書評）『週刊東洋経済』11月28日号
 潮木守一著『職業としての大学教授』（書評）『週刊東洋経済』11月28日号
 潮木守一著『職業としての大学教授』（書評）『熊本日日新聞』12月6日
 事業仕分けと全共闘 教授と官僚、重なる威信の失墜 『産経新聞』12月25日夕刊
 橋本俊詔著『東京大学エリート養成機関の盛衰』（書評）『経済セミナー』12月号・2010年1月号

2010年

ギャグとユーモア 『笑いを科学する—ユーモア・サイエンスへの招待』新曜社 1月
 猪瀬直樹著『ジミーの誕生日』（書評）『週刊東洋経済』1月9日号
 太田尚樹著『東条英機—阿片の闇満州の夢』（書評）『週刊東洋経済』1月9日号
 日本型大衆社会の誕生1 テレビカメラが大衆に（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月18日
 日本型大衆社会の誕生2 ケインズの美人投票（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月19日
 日本型大衆社会の誕生3 大衆の発見（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月20日
 日本型大衆社会の誕生4 「大衆」巡って争奪戦に（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月21日
 日本型大衆社会の誕生5 大衆文化の誕生（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月22日
 日本型大衆社会の誕生6 「新中間大衆」の台頭（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月25日
 日本型大衆社会の誕生7 しゃしゃり出る大衆人（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月27日
 日本型大衆社会の誕生8 「顕示的公共性」が復古（やさしい経済学）『日本経済新聞』1月28日
 高橋秀実著『からくり民主主義』（書評）『週刊東洋経済』1月30日号
 鈴木貞美著『戦後思想は日本を読みそこねてきた』（書評）『週刊東洋経済』1月30日号
 週刊新潮掲示板 『週刊新潮』250号 2月
 解説 福沢諭吉著（土橋俊一校訂・校注）『福翁自伝』講談社 2月
 自分史としての戦後史—続『革新幻想の戦後史』の開始にあたって 『正論』2月号
 鹿島茂著『吉本隆明1968』（書評）『新書大賞』2月号
 新・大学は出たけれど 進学の「就職待合室」化は危険（論壇）『読売新聞』2月1日
 松井慎一著『河合栄治郎』（書評）『日本経済新聞』2月7日
 山田昌弘著『なぜ若者は保守化するのか—反転する現実と願望』（書評）『熊本日日新聞』2月14日
 続・革新幻想の戦後史第1回—ポスト60年安保と革新幻想 『正論』3月号
 教員純血率ランキング—他校で教え自校に戻る「リターン型」のすすめ 『2011年版大学ランキング』朝日新聞出版 4月
 続・革新幻想の戦後史第2回—小田実の『中間』知識人論と『下流』大衆社会 『正論』4月号
 メディア知識人の運命 『中央公論』4月号
 大学教員の世代間格差 『IDE 現代の高等教育』519号 4月
 西村大志著『夜食の文化誌』（書評）『熊本日日新聞』4月18日

- 続・革新幻想の戦後史第3回—鬱と躁をかけめぐった小田実 『正論』5月号
 続・革新幻想の戦後史第4回—歴史の中で見る全共闘(上) 『正論』6月号
 教養とは、また節度であります 『読売新聞』6月14日
 松本健一著『日本のナショナリズム』(書評) 『熊本日日新聞』6月20日
 大学教員の棒給は学者として支払はれるをるに非ず 『読売新聞』6月21日
 子どもは教師や親が教へようとしたものを学ばない 『読売新聞』6月28日
 続・革新幻想の戦後史第5回—歴史の中で見る全共闘(中) 『正論』7月号
 続・革新幻想の戦後史第6回—歴史の中で見る全共闘(下) 『正論』8月号
 行方昭夫著『サマセット・モームを読む』(書評) 『熊本日日新聞』8月22日
 私の聴き取り調査法(「社会調査のあれこれ」) 『社会と調査』No.5 9月
 続・革新幻想の戦後史第7回—総合雑誌のオンリー・イェスタディ 『正論』9月号
 みそぎと洗礼、「戦後」終わる 理念なき消費社会への転換点(東アジアの時代第4部日米安保
 50年 ④反対運動の意味) 『京都新聞』9月22日
 今のリーダーシップとは 『産経新聞』9月24日
 続・革新幻想の戦後史第8回—丸山眞男バッシング 『正論』10月号
 テレビカメラが大衆である 『ソシオロジ』第55巻2号 10月
 学者の講義本に熱い視線 代わる知識人に期待(今を読み解く) 『日本経済新聞』10月10日
 続・革新幻想の戦後史第9回—間違いと問題の多い丸山眞男「近代日本の知識人」 『正論』11
 月号
 小浜逸郎著『人はひとりで生きていけるか』(書評) 『熊本日日新聞』11月7日
 続・革新幻想の戦後史第10回—石坂洋次郎と戦後日本(上) 『正論』12月号
 大企業と大学教育 『都市問題』第101巻第12号 12月
 陣内靖彦監修『文献・資料集成 戦後日本の教師論』(書評) 日本図書センターリーフレット

2011年

- 続・革新幻想の戦後史第11回—石坂洋次郎と戦後日本(中) 『正論』1月号
 日本型大衆社会の誕生9 知識人や官僚の憂うつ(やさしい経済学) 『日本経済新聞』1月29日
 続・革新幻想の戦後史第12回—石坂洋次郎と戦後日本(下) 『正論』2月号
 日本型大衆社会の誕生10 大衆感覚が統合原理に(やさしい経済学) 『日本経済新聞』2月1日
 森正人著『昭和旅行誌』(書評) 『熊本日日新聞』2月13日
 続・革新幻想の戦後史第13回—大衆モダニズムの帰趨(上) 『正論』3月号
 就職不安の諸君に 『現代の学生に贈る—河合栄治郎「学生に与う」現代版』西谷英昭・川西重
 忠編著 桜美林大学北東アジア総合研究所 4月
 大学教授職(アカボス)にバブル時代が三回もあった 『教育文化を学ぶ人のために』世界思想社
 4月
 続・革新幻想の戦後史第14回—大衆モダニズムの帰趨(下) 『正論』4月号
 大学の下流化 NTT出版 4月
 マイルズ・フレッチャー著『知識人とファシズム—近衛新体制と昭和研究会』(井上義和と共訳)
 柏書房 4月
 続・革新幻想の戦後史第15回—知識人の変容と解体(上) 『正論』5月号

- 知の背伸びしない学生 『読売新聞』 5月8日
- 江利川春雄著『受験英語と日本人』（書評）『熊本日日新聞』 5月8日
- 原 克著『サラリーマン誕生物語』（書評）『日本経済新聞』 5月8日
- 「大地震によって脅かされるという運命を担っている民族なのであります」（今に問う言葉）『読売新聞』 5月16日
- 「若し天譴であるならば、本当に贅沢をした人間が罰を受けるべきではないでしょうか」（今に問う言葉）『読売新聞』 5月16日
- なぜ共産主義という「戦犯」を忘れたのか（伊藤隆との対談）『別冊正論』 15 6月
- 無責任の体系 『中央公論』 6月号
- 続・革新幻想の戦後史第16回—知識人の変容と解体（下）『正論』 6月号
- 解説 教養ある公共知識人の体現者J・S・ミル J・S・ミル著『大学教育について』岩波書店 7月
- 続・革新幻想の戦後史第17回—大衆社会の構造転換 『正論』 7月号
- 丸山眞男 輝ける多弁な公共知識人（戦後日本のカリスマ思想家1）『日本経済新聞』 7月7日夕刊
- 清水幾太郎 メディア知識人の栄光と変転（戦後日本のカリスマ思想家2）『日本経済新聞』 7月14日夕刊
- 秦 郁彦著『病気の日本近代史—幕末から平成まで』（書評）『産経新聞』 7月17日
- 矢野眞和著『「習慣病」になったニッポンの大学』（書評）『熊本日日新聞』 7月17日
- 福田恒存 保守知識人 論争の手品師（戦後日本のカリスマ思想家3）『日本経済新聞』 7月21日夕刊
- 吉本隆明 下町知識人 同時代と伴走（戦後日本のカリスマ思想家4）『日本経済新聞』 7月28日夕刊
- 学校と社会の現代史 左右社 9月
- 少子化時代の大学改革（今を読み解く）『日本経済新聞』 9月18日
- テレビのなかで消費される知識人 『中央公論』 10月号
- 退職後の幸福の法則 『I.I.MECA』 Vol.65 10月
- 革新幻想の戦後史 中央公論新社 10月
- 加地伸行著『祖父が語る「こころざしの物語」』（書評）『熊本日日新聞』 10月9日
- 学校文化 『指導と評価』 第57巻12月号
- ひとつの加藤秀俊論 『アリーナ』 第12号 12月
- 山折哲雄著『義理と人情』（書評）『熊本日日新聞』 12月18日

2012年

- 「文化人」を嗤う 『ラ・アルプ』 第48巻323号 四季株式会社 1月
- 「妻」と「毒」 『関西大学通信』 411号 1月
- これまでの学校とこれからの学校 『教育展望』 1・2月合併号
- 藤田祐介・貝塚茂樹著『教育における「政治的中立」の誕生』（書評）『正論』 3月号
- もうひとつの大正教養主義—嗜み系“きょうよう”女性の存在 『こころ』 第5号